資料１

地域医療構想調整会議における重点課題

【圏域名：南渡島】

重点課題	**急性期経過後の患者等の受け皿と在宅医療等の提供体制の確保**

【概　要】

〇南渡島圏域においては、病院の約８割が函館市内に集中し、高度急性期・急性期機能の大部分を函館市内の病院が担っている現状にあり、急性期経過後の患者を受ける回復期病院の確保や在宅医療の充実など、圏域内における病院機能の効率化や医療・介護連携の強化を図る必要がある。

〇また、道南三次医療圏においても、南檜山圏域及び北渡島・檜山圏域から南渡島圏域への急性期患者の流入が多く、こうした他圏域の回復期患者の受け皿確保などの課題があり、３圏域での広域連携を一層進める必要がある。

【令和元年度における今後の検討スケジュール】

９～１１月　南渡島地域医療構想調整会議（書面開催）
・各委員への重点課題の設定に係る意見照会

12 月 15 日 地域医療構想調整会議協議会（議長出席予定）
・重点課題について他圏域の現状把握と意見交換

１～２月　南渡島地域医療構想調整会議専門部会
・病床機能報告及び意向調査結果を踏まえた重点課題の検討協議

３月下旬　南渡島地域医療構想調整会議
・重点課題の進捗状況及び部会における協議結果等の報告